

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

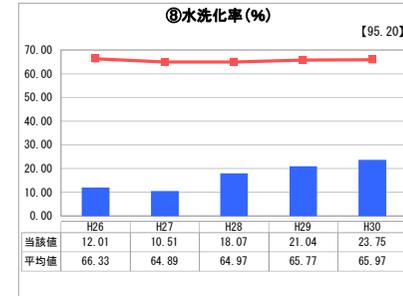
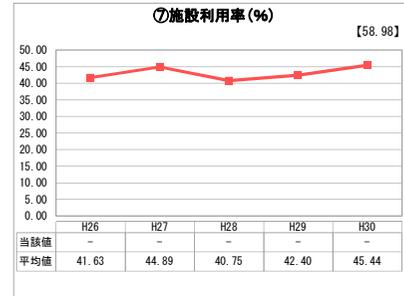
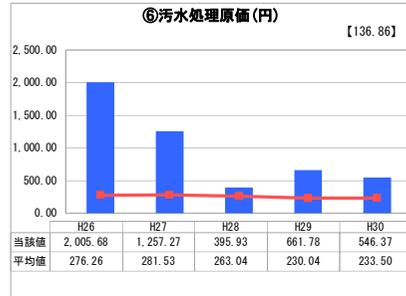
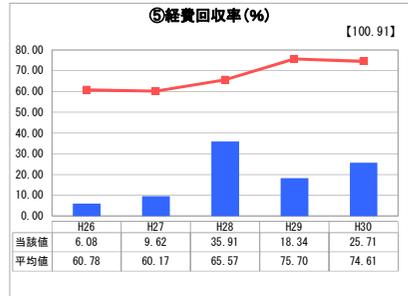
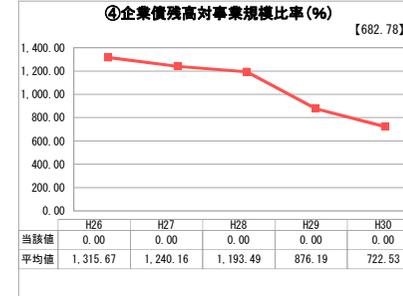
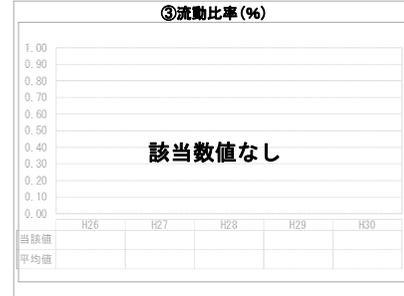
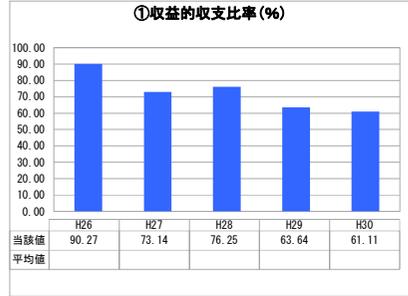
埼玉県 美里町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	7.13	100.00	2,160

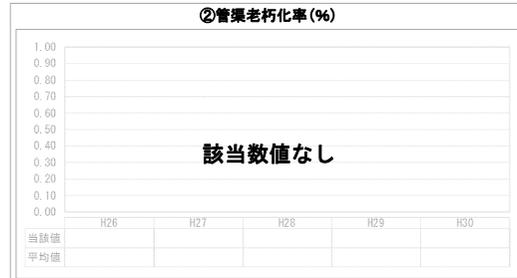
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
11,226	33.41	336.01
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
800	0.28	2,857.14

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ①収益的収支比率  
前年度に比べ総収益に大きな増減はないが、地方債償還金が増加したことにより、収益的収支比率が前年度より減少している。
- ④企業債残高対事業規模比率  
地方債残高の全てを一般会計で負担しているため、当指標は0となっている。
- ⑤経費回収率  
加入件数の増加による料金収入の増加及び維持管理費の減少による汚水処理費の減少により経費回収率が前年度に比べ増加している。
- ⑥汚水処理原価  
年間有収水量に大きな増減はないが、⑤経費回収率と同様に、維持管理費の減少による汚水処理費の減少によって、前年度と比べると汚水処理原価が減少している。
- ⑧水洗化率  
現在処理区域内人口は前年度に比べ大きく増減していないが、接続件数が増加しているため、水洗化率が増加している。

供用開始後間もないため、接続件数が少なく使用料金も少ないため一般会計からの繰入金に依存している状況である。  
各項目とも類似団体と比較すると大きな差があるため使用料収入を増加させるため加入促進等により水洗化人口及び有収水量の増加を目指す必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

平成25年に供用開始しており、比較的新しい管渠であるため、現時点での老朽化対策は不要である。  
しかし、管渠やマンホールの状態を把握するために巡回・点検を実施する必要がある。

## 全体総括

公衆衛生の向上や河川等の水質保全による良好な環境の創造を目的としつつ、安定した事業経営を行うために接続の推進等による使用料収入の確保に努める必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。